

平成 27 年度 第6回福岡県助産師会スキルアップ研修会実施報告

「予期せぬ妊娠をした女性への支援」

～子どもの明るい未来のために～

講師 藤林 武史医師（福岡市こども総合相談センター所長）

講師 清水 知子保健師（久留米市保健所 健康推進課）

平成 28 年 2 月 13 日に第 6 回スキルアップ研修会が開催されました。

世の中の子供たちが、両親の愛情の元、自立するまで育てられることが望まれる中、予期されないで妊娠する女性も数多くあります。その中でも、社会的・精神的に不安定で、周囲のサポートが不十分とされる社会的ハイリスク妊婦も多くいます。

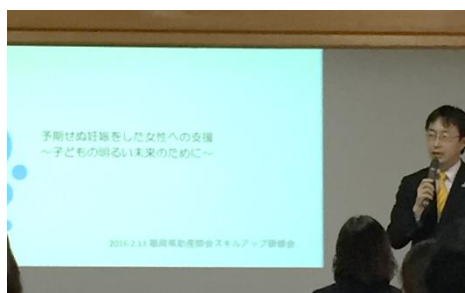
そのハイリスク妊婦との関わりは、私たち助産師にとって、重要な部分であるといえます。若年・未入籍・精神不安・非行・犯罪・実家家族との疎遠・社会的孤立・自傷・薬物問題・DVなどの背景があるハイリスク妊婦。回りの人に相談する力もなく、結果子供への虐待・ネグレクト・母子心中、そしてアタッチメント障害へとつながっていき、子供にとっての安全で安心な養育環境が奪われることになり、弱者である子供たちが、厳しい状況に追い込まれるのです。

先生方は、日々ハイリスク妊婦のサポートに携わっておられ、事例をあげられての説明により、支援の流れがよく理解できました。

妊婦さんにとって安定した妊娠期・産後をおくれるように 胎児・子供にとって安全かつ安心な環境を整える為に、特定妊婦として市区町村要対協に連絡され、継続的な多機関養育支援につながっていく例。生みの親が責任を持って育てられない場合は、養育環境の選択として、祖父母等親族・知人の支援を受けながら育てる・母子入所して公的な支援を受けながら育てる・祖父母等親族に一過性に養育を託す・乳児院に入り施設に短期間養育を託す・特別養子縁組として養親に永続的に養育を託す等があげられました。それぞれの場所で働くなかで、ハイリスク妊婦と関わる機会があると思います。

今回の講演を聴講し助産師に対しての期待が大きいこと知り、とても意識づけられました。これから助産師として、妊産婦さんの良き理解者としてあたたかく寄り添い、そして相手を尊重できる支援者になれたらと実感しました。

先生方、どうもありがとうございました。



文責：教育委員 黒岩ゆき